

# れんごう中越地協

第869号 2015.9.11  
連合中越地域協議会  
長岡市東蔵王2-2-68  
TEL 0258-24-0515  
FAX 0258-24-8930  
発行人 矢島 良彦  
定価 1部10円  
購読料は会費に含む



## 連合中越地協第10回幹事会開く

### 15年度最終盤の取り組みを確認

連合中越地協は、8月20日(木)午後6時30分から第10回幹事会を開催し、15年度最終盤の取り組みなどについて確認した。矢島議長は開催にあたり「8月期は、地協内で平和活動を中心に取り組みだ。安民法案阻止の大量行動が行われている。政府は改憲もせざるにせよとされており、無理なこと



だ。地協は9月末の年度末に向け計画通り運動を進めていきたい旨の挨拶を述べた。最初に報告事項として以下の点が報告された。連合新潟関係では、「安倍政権の暴走を止める7・19怒りの集会」への参加や連合新潟青年委員会、「サマーフェスティバル」機関係関係では、地協第25回定期

総会に向けた第1回役員推薦委員会開催。組織関係では地協医療部門「長岡・小千谷地域等病院労組懇談会」。政策関係では、新潟県労働者福祉協議会からの中央労協協ヒアリング対応や自治体要望のアンケート状況等。教宣

文化関係では、第23回囲碁将棋大会と最低賃金引上げ及び労働者保護ルール改悪阻止街宣行動。国民運動関係では、7月末から8月初に行われた各種平和関係事業等の報告を確認した。また、各支部報告では、見附地区支部、小千谷支部、十日町支部の平和関係の取り組みが事務局から報告された。

2015年度人権政策確立キャラバン行動が8月21日(金)から26日(水)の4日間に新潟県の30市町村首部長と教育委員会の方々に、述べ66人の訪問団(新潟県人権同盟センター・部落解放同盟連・県同教・宗教団体・各団体組織・各職労)で県下一斉に訪問活動が行われ、24日は山口十日町支部長が同行した。25日は、連合中越地協の代表として部落解放同盟連の長谷川執行委員長と他6人の代表(途中合流2人)と行動を共に午前は長岡・見附と午後是小千

谷・魚沼市役所を訪問した。訪問の目的は、1つには県で人権に対する県民意識調査が行われ65%以上が身元調査を肯定する結果を受けて、身元調査の差別性を検討委員会の共通認識にされるように取り組みをお願い。2つには今年長野市で11月21日(土)から22日(日)に全国人権教育研究会協議会(全人教大)に市町村及び教育委員会の職員を積極的に参加させるように要望を伝えること。3つには市町村の住民意識調査の実施と人権教育啓発推進計画の策定。4つは人権に関する法律の

項では、10月初期までの主な活動が次のように提起された。先ず、機関会議関係では、第76回地協委員会や定期総会日程、第12回幹事会北魚沼支部内で議案審議を行うことを決定した。また、労働者保護ルール改悪阻止などの街頭行動第5次を9月8日とすることやワーク&ライフセミナー(長岡)10月4日)の内容を確認した。他には、S J ネット委員会主催のユニオンパワーアップセミナー(PART2)や人権政策確立キャラバン等を確認した。

履行を要請する。今では、首部長や教育委員会のトップとほか大勢の職員代表が対応してくれるが、最初は事務担当や数人の職員による消極的な対応であったそう。そうしたことは、人権が個人的問題として捉えられており、役所や教育委員会には立ち入らないようにしていたからだと行動していた方達が言っていた。

また、学校教育では小中学校は道徳教育時間をつくり、人権に対する教育を学ぶ機会があるが、高等学校では学習時間をつくるのでなく、普段の学校教育

連合中越役員に選任される2年が経とうとしている。振り返ると役員になる前は、連合中越地協活動に「動員の意識」の薄い関わり方の運動参加であったように思う。副議長1年目は、活動消化で運動を理解する暇もなく流されただけが残った。2年目は、運動内容を理解することが出来つつあるような気がしてきた。しかし、出身の単組会議の場

政治に目を向ける機会が多くなり、物事を冷静に分析し考えるようになった気がする。出身単組では、単組の問題が最優先になり、問題の本質・理解力と解決能力が芽生えないまま活動に流され、組合の運動消化を繰り返しているような気がしていた。連合運動を学ぶ必要があると思う。なぜなら、今の時代は情報社会で、昔のように先輩から言われたからでは理解と協力は望めない時代と思う。しかし、時代に関係なく、伝えなくてはならないこともある。それは、「困っていないか、悩んでいないか、苦しんでいないか」そう言ってくれる人を増やすことだ。労働組合は助けを必要としている人がいるところに存在価値がある。なぜなら、労働組合は社会的責任があり、社会も職場も自分一人ではないと感じさせてくれる。連合中越はそうした産別単組・組合員の集まりで、感謝している

の中で学ばせる形だ。一人任があるからだ。1人でも多くの人が人権に向き合えば、平和な世の中が来るのに、人間はなんて愚かな生き物だと思ふ。来年も参加して、今年の約束がど確認してみたいし、約束を守ってより良い地域社会を築き上げてほしいと願っている。

東蔵王2 副議長 火山健悟

サラリーマン川柳(おまえもか 独り身ばかりの 同窓会) (もったいない 化粧・ブランド・ダイエット) (家族愛 俺が居ないと 笑い声) (振り込めは 騙し騙され 進化する)

サラリーマン川柳 (ふんばろう 窓際生え際 土俵際) (何つめる オレひっそりと 息つめる) (物事は 考えたフリして 切り抜ける) (ダイエット 決意をさせる 試着室)

# NIIGATA WORKERS EKIDEN

## 第25回新潟県勤労者駅伝大会要項



- 期日** 2015年9月19日(土) **雨天決行**
- 場所** デンカビッグスワンスタジアム  
新潟県スポーツ公園内コース
- 種目** 24.4km 6人リレー

連合新潟・新潟県労福協

## 2015 連合中越「アジア・アフリカ救援米」稲刈り編

- 日時** 9月19日(土)
- 場所** 長岡市天神町の田んぼ(下記の案内図参照)
- 日程** 9時30分 受付開始  
9時40分 開会式 稲刈り指導を良く聞いて、稲刈りスタート!  
11時45分 昼食(13時終了予定)
- 参加費** 大人100円、子供は無料(豚汁付き)
- 申込締切** 9月15日(火) ※連合中越地域協議会(TEL0258-24-0515)まで



### みんな、あつまれ!



春の田植えでバケツ稲を作ったみんなは、ぜひお参りね! バケツ稲コンテストも開催!!



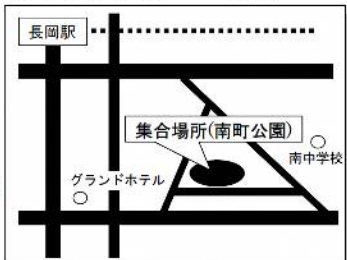
主催: アジア・アフリカ救援米中越地区実行委員会  
問合せ: 連合中越地域協議会事務局まで  
(TEL0258-24-0515 FAX0258-24-8930)



第19回 長岡の中心市街地を流れる「柿川」を見つめて!

## 柿川周辺清掃と歴史探訪の集い

- 日時**: 10月3日(土) 9:00~12:00
- 集合場所**: 南町公園(小雨決行)
- 参加費**: 無料
- 当日参加可、おにぎり・お茶(ペットボトル)付き**



4コースに分かれて清掃活動。清掃中、郷土史研究会の先生が史跡の説明。  
特別講演: 戦後70年 長岡空襲を戦災資料館で検証  
(詳しくは裏面をお読み下さい。)

### Massage

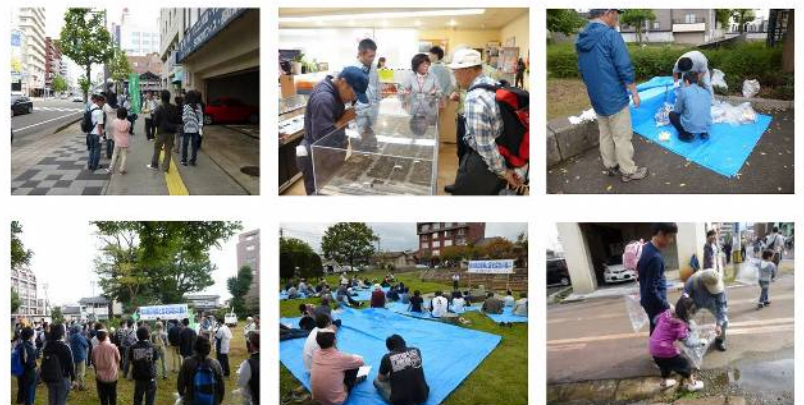
長岡の中心市街地を流れる「柿川」は、営々として人々の生活・歴史を支え、見続けてきました。私たちは、この「柿川」に様々な思いを寄せ、一人一人が思いの夢を馳せようと、個人・団体の浄財のみを頼りに、1997年10月から柿川清掃活動等を行ってきました。年々人の輪が大きくなってきました。柿川を覗き込み、河川の汚れを考えると、水生動物の生活を考えると、釣魚の楽しみや優雅な錦鯉の泳ぐ様子を夢見る人・川の果した産業や生活の歴史を思い出す人・・・等々。市民一人一人が、「違った夢・思い」を「柿川」と語り合えるではありませんか。多くの皆様方のご参加をお願い申し上げます。



問い合わせ先  
柿川周辺清掃と歴史探訪の集い事務局:  
特定非営利活動法人地域循環ネットワーク  
長岡市東蔵王2-1-10 市民生活工房内  
電話番号 0258-34-4450  
主催: 柿川に親しむ会

### 柿川周辺清掃と歴史探訪の集いスケジュール

- 10月3日(土)
- 8:30 受付開始
- 9:00 開会・行動計画の説明
- 9:30 南町公園より4コースに分かれ「柿川周辺市街地」を清掃活動しながら史跡探訪(各コースで長岡郷土史研究会メンバーが解説)を行います
- 11:00 長岡市戦災資料館へ集結
- 11:10 「長岡空襲を戦災資料館で見て聞く特別講演」
- 11:50 おにぎりとお茶(ペットボトル)をいただいて解散



\*清掃活動と史跡探訪の様子

### 長岡空襲を戦災資料館で見て聞く特別講演



戦後70年が経過し様々な論議がなされていますが、実際に戦争を体験した人は少なくなっています。知らない人とわからない人が論議しても正しい結論には至りません。「真実を見て・聞いて」を繰り返すことから知識が育まれていきます。

※活動の運営のためにカンパをお願いします。

御氏名又は企業・団体名	〒	〒
御案内・受領証送付先住所	〒	〒
寄付口数 (1口¥1,000)	口	円
取扱者名		

\* 寄付金の領収書は事業終了後、事務局より郵便はがきにて送付させていただきます。